

国立病院機構南岡山医療センターにおいて  
2026年2月1日～2027年3月31日の間に  
つきし病棟へ長期入所されている患者様及びご家族様

「成人重症心身障害者におけるより確からしい基礎代謝量の算出」へのご協力をお願い

研究機関名 国立病院機構 南岡山医療センター  
研究機関長 井上 美智子  
研究責任者 国立病院機構 南岡山医療センター 栄養管理室 堅田 朋希

## 1. 研究の目的

基礎代謝量（以下 BMR）は間質熱量測定法という機器を用いた測定が正確といわれています。また、生体インピーダンス測定法という BMR の推定を行うことも一般的に行われています。しかし、いずれの測定法も当院での実施は難しく、重症心身障害児（・者）（以下、重症身障者）の BMR は日本人の食事摂取基準 2025 における基礎代謝基準値を基に、実測体重を乗じて算出した簡易式により算出を行っています。

ただ、いくつかの先行研究から BMR は体重より除脂肪体重に強い相関を示すとの報告がある他、日本人の食事摂取基準 2025 による基礎代謝基準値は肥満で過大評価、やせで過小評価となる特性があることが知られています。

そこで、重症身障者の幅広い体格に考慮した現実的かつより正確な基礎代謝量を推定するため、除脂肪体重を基にした基礎代謝量を患者さんごとに算出し、栄養状態の評価に繋げることが本研究の目的としています。

## 2. 研究の方法

1) この研究は 2026 年 2 月 1 日～2027 年 3 月 31 日の間に南岡山医療センターに長期入所をしている成人(18 歳以上)の重症身障者の患者さんを対象としています。

### 2) 研究期間

研究機関の長の許可後～2027 年 3 月 31 日

### 3) 研究に用いる試料・情報の種類

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などの患者さんをただちに特定できる情報は削除し使用いたしません。

・年齢、性別、身体計測値（身長、体重、皮下脂肪圧、上腕周囲長）など

4) 外部への資料・情報の提供

この研究に使用する情報は南岡山医療センターにて解析を行います。

5) 試料・情報の保存、二次利用

この研究で用いた情報は、研究の中止または研究終了後5年間、南岡山医療センター栄養管理室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問合せ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障のない範囲内で研究計画書及び関連資料を閲覧することができますので、お申し出下さい。その場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

この研究は氏名、生年月日など患者さんを直ちに特定できるデータをわからない形にして国立病院管理栄養士協議会研究発表会にて発表いたしますので、ご了解下さい。

<お問い合わせ・連絡先>

国立病院機構南岡山医療センター

担当者：管理課 西谷

電話：086-482-1121（平日：8時45分～17時15分）

ファックス：086-483-3883